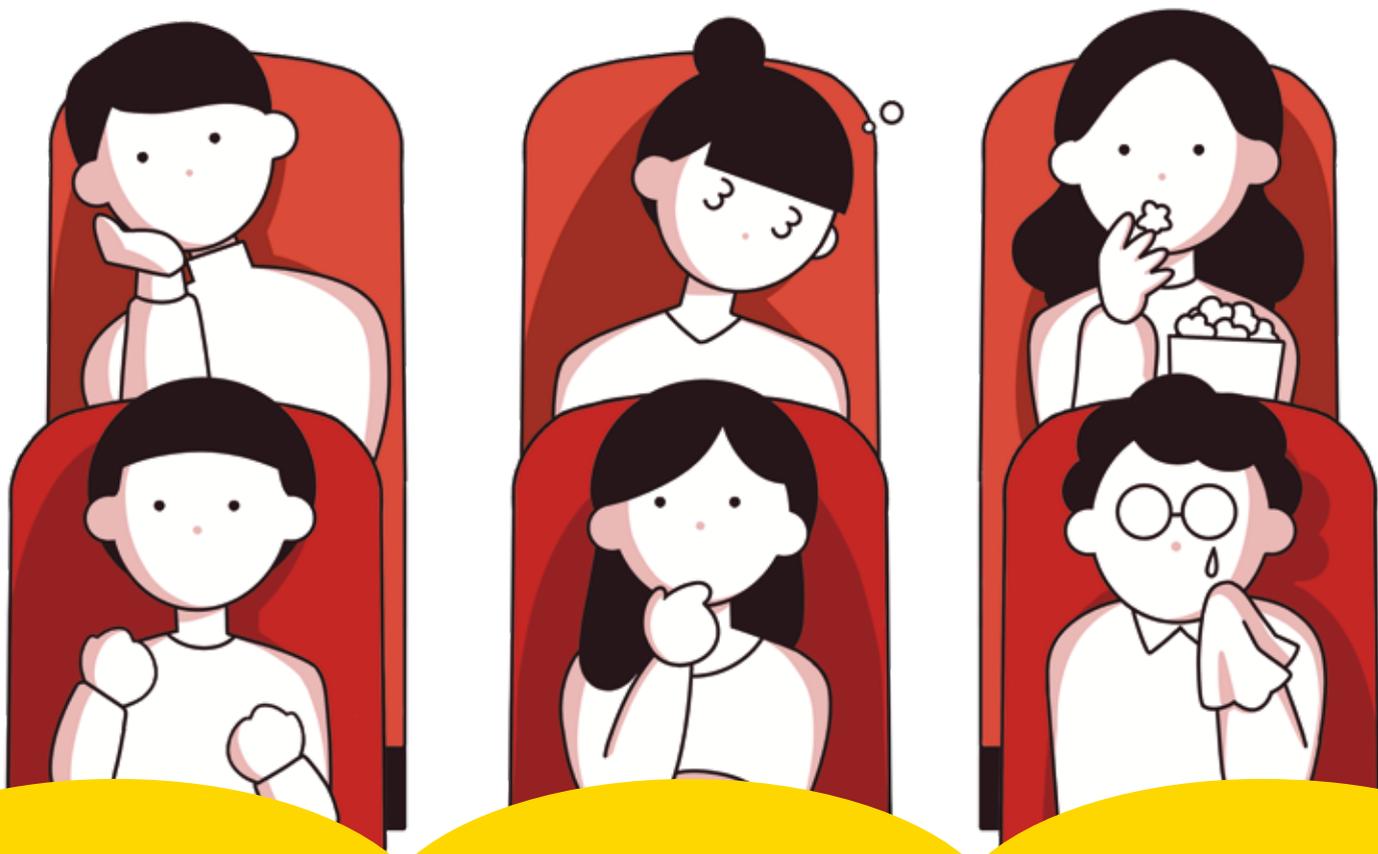


メディアに潜むメッセージとは

— 映画で考える哲学 —



令和6年10月26日(土) 午後2時~3時30分

日常生活で私たちがよく目にしているドラマや映画、アニメーションの数々。そんなメディアのなかに哲学は潜んでいます。どうしても「どちらか一つに決めなければならない選択」に直面したとき、どちらを選ぶでしょう？ こうした倫理的問題はたくさんの研究者らによって議論されてきました。本講演では、これらの倫理的問題が様々なメディアでどう表現され、どう受け止め解釈してきたか、メディアの観点から掘り下げます。メディアによる芸術表現に備わる利点と危険性について、あらためてみなさんと考え、メディアに潜むメッセージにどれだけ気付くことができるでしょうか。一人ひとりが思考の主役です。

定員：40名
(抽選)

参加費：無料

申込方法：

以下のウェブフォームまたは2次元コードからお申し込みください。

<https://logoform.jp/form/Y4gR/645557>

入力が難しい場合は、中央図書館(問合せ先)へお電話でお申し込みください。

申込期間：

令和6年10月1日(火)午前9時~10月14日(日)午後5時

抽選結果：

10月16日(水)午前9時以降、申し込み時に自動送信メールでお送りしたURLから、各自でご確認ください。

ご確認できない場合は、中央図書館へお電話でお問い合わせください。

問合せ先：

杉並区立中央図書館企画運営係 03-3391-5754 (代表)

講演者：小平健太 こだいらけんた

高千穂大学 人間科学部 准教授・博士(比較文明学)。

専門は近現代ドイツ哲学、美学・芸術学、比較文化論。具体的な研究分野は、解釈学(ガダマー・ディルタイ)、存在論(ハイデガー)およびヴィーコをはじめとする西洋人文主義思想。大学教育だけでなく、一般企業にて哲学対話の活動を行うなど、「哲学すること」の研究と社会実践にも広く取り組んでいる。著書に『ハンス=ゲオルグ・ガダマーの芸術哲学—哲学的解釈学における言語性の問題』(晃洋書房/2020年)他

会場：

杉並区立中央図書館 地下ホール
(杉並区荻窪3-40-23)

JR中央線、東京メトロ丸ノ内線
「荻窪駅」南口から徒歩10分

